

宇工高同窓会々報

会員の皆様へ

会長

岡田義治



同窓会々員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

同窓会では平成28年2月に旧宇工高跡地に記念碑「発祥の地」を完成させました。近くにお越しの際は是非御覧になり、2011(平成23)年に移転した旧宇工高の姿をそれぞれの思いの中に懐かしんで下さい。

さて、これからの宇工同窓会の歩むべき道はいろいろなことに取り組む必要があります。当面、百周年の道のりを考える中で、母校・宇工高の発展に寄与していけるか、が課題となるはずですが、従来「教育活動援助金」

の協力はもちろんのこと、生徒の科学技術としての成長を一層促すための同窓会の援助を高めること。人間としてほかとの協調性を重んじる心を養うこと、等が浮かびます。宇工高の教育目標である「豊かな人間性、確かな技術・技能を身につけ、将来の産業界を担う技術者を育成する」というものに帰結するものです。

ある大学が、百周年記念の行事として「百年間試験できるコンクリーターのテストピース」を考えた、という新聞記事を読んだことがあります。何年間かは実際に試験を実施して効果を確かめた話しを聞きましたが、100周というスパンを考えると結論を見出したという途中経過がどうなったのか、その後どうなったかわかりません。しかし、この記事のように、100周年だから考えられることがきつとあります。宇工という学校に相応しい大学等に無い着眼点に期待して「テーマを探す努力」をしたと思います。ところで、細かい問題ですが同窓会として今まで手をつ

けなかったことが沢山あります。同窓会の企業理事、地区理事、クラス理事等は有名無実で実際に役に立つ組織でしょうか。

また、気になることがあります。新しい学校で、在校生のみなさんは同窓会をどう思っているのか。卒業式、同窓会入会式、創立記念日、入学式に行って挨拶を述べてきますが、私の独りよがりになっっていないかと、心配です。同窓会と生徒のみなさんとの座談会でも計画してみても如何でしょうか。

今年も大活躍

校長

小林網芳



本校同窓会の皆様には、在校生に對しまして、多くのご支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。

発行者
宇都宮工業高等学校
同窓会事務局
宇都宮市雀宮町52番地
電話 (028)678-6500

本年度も多くの宇工生が、様々な分野で活躍しました。運動部関係では、春の栃木県高校総合体育大会から始まり、厳しい県大会を勝ち抜き関東大会に多くの宇工生が出場を果たしました。夏の全国高校総合体育大会にソフトテニス部、陸上競技部、空手、少林寺拳法部、水泳部が見事出場いたしました。国体でも、陸上競技部田中鼓太郎さん(110mJH)、水泳部高橋航希さん(200m平泳ぎ)が出場しました。バスケットボール部は、三年連続で全国高校バスケットボール選手権大会に出場を果たしました。文化部においても、写真部が第四十一回全国高等学校総合文化祭宮城大会に出場。音楽部が東関東吹奏楽コンクールに出場しました。また、本校の特色でもあるものづくり分野でも、関東高校生ものづくりコンテストには、機械系部門、木材加工部門、電気工事部門に県代表として出場しました。さらに、本県で開催された技能五輪全国大会に、配管部門に斉藤大樹さん(環境設備三年)が、建築大工部門で相馬光也さん、服部友哉さん(建築デザイン三年)が出場しました。第二十七回全国産業教育フェア秋田大会においてスーパープロフェツショナルハイスクール事業の研究指定校として発表を行いました。さらに、同大会の第二十五回ロボット競技大会に本校から1チーム出場。さらに、ジャパンマイコンカー

り2018大会の出場権を得ました。定時制でも、夏の全国定時制高校総合体育大会に、陸上競技、バドミントンで県代表として出場しました。第六十五回生徒生活体験発表会では素晴らしい発表が行われました。

全日制の進路状況は、就職では、地元企業や県内の大企業を中心に十月末には大部分の生徒が内定をいただきました。さらに、公務員希望者も含め、今年も無事に就職内定率100%を達成いたしました。進学に關しましては、大学進学では、宇都宮大学(六名)、東京学芸大学、長岡技術科学大学、長岡造形大学、日本大学、東洋大学、日本工業大学、千葉工業大学、金沢工業大学、東京電機大学、芝浦工業大学、神奈川工科大学、足利大学(旧名 足利工業大学)、帝京大学、白鷗大学など多くの大学に、専門学校では東京都内や県内の専門学校から合格をいただきました。定時制の進路状況は、地元企業への内定や専門学校への合格をいただきました。

今後とも一層のご支援をお願いいたします。

働くところ

定時制課程 教頭

近藤 正



高等学校の定時制課程は、労働青少年に高等学校の教育の機会を提供する目的で設けられています。しかしながら、近年、定時制の生徒も多様化し、必ずしも労働青少年の数は多いわけではありません。それでも、今年度宇工の定時制に在籍している生徒は、アルバイトも含めると実に三分の二以上の生徒が何らかの形で働いています。宇工の定時制では、新入生に対して一学期の半ば過ぎ位から、学校生活にある程度慣れてきたのを見計らって、アルバイト等で働くことを奨励しています。私はこれまで、全日制の高校に勤務していましたが、全日制ではアルバイトは許可制の場合も多く、学校が奨励するケースは必ずしも多くありませんでした。

このころが多くの定時制の生徒は、朝から午後にかけて働いて、夕方から登校してきます。これが生活のリズムとなっていて、生徒も少なくないのです。彼らの職場は、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、レストラン、工場労働者、土木作業、物流関係と実に様々です。なかには作業衣や職場の制服で登校してくる生徒もいます。時には朝からの仕事疲れのためか、授業中に睡魔に襲われたり、仕事が終わらずに遅刻をする場合もあるようです。

宇工定時制では、所定修業年限の四年より一年早く卒業できる三修制を導入しています。そのために実務代替という制度も有り、職場で働くことで卒業単位の一部とすることもできます。

日本人の平均寿命も八十歳を超えました。多くの人たちはそのうちの五十年近くを働くことで社会と繋がっているのかと思います。定時制に学ぶ生徒諸君にも、勤労すること社会に貢献してもらえよう、エールを送っています。

全国高校選手権大会出場

バスケットボール部

顧問 高崎 徹

今年度のバスケット部を振り返ると、1月の県新人大会はなんと優勝したが、春の関東県予選大会、インターハイ県予選大会と、決勝で涙を呑んだ。新チーム始動から下級生主体のチームだったため、相手との体力・技術・経験の差は明白だった。このままでは終われない。

自分たちに足りないものも一度見つけ直し、冬の全国高校選手権大会に出場するために必死に毎日の練習に取り組んだ結果、悲願の優勝勝ち取ることができた。

チームにとって、この全国大会出場には大きな意味がある。全国の舞台で今の自分たちがどれだけ通用するのか。そして、その先にある新たな自分たちの目標に向かうための大きな自信になった。全国のレベルは非常に高いが宇都宮工業バスケット部として胸を張って戦ってきた。



第55回技能五輪全国大会

「建築大工」職種に出場して

建築デザイン科

顧問 湯本 実成
黒崎 利之

平成29年11月24日(金)から27日(月)の日程で、栃木県那須塩原市にしないすの運動公園において、第55回技能五輪全国大会「建築大工」職種

が開催されました。建築大工職種では、過去最大となる95名の各県代表が集まり、本校からは、建築デザイン科3年の相馬光也さんと服部友哉さんの2名が、栃木県代表選手として競技に参加しました。

大会前は大変緊張していましたが、競技が開始されると、特訓通り順調な作業で課題を仕上げていきました。制限時間の12時間を目一杯使い、最高の作品を作ることができました。

惜しくも入賞は逃しましたが、本職の大工さんでさえも、完成することができない参加者が続出するなか、時間内に完成することができたことは、日頃の厳しい練習の成果が発揮された結果でした。

生徒からは、「将来は、栃木県のものづくりマイスターになりたい」という感想がありました。今後は、彼らの取



り組みを参考にし、後輩たちが引き続いて技能五輪全国大会に挑戦してくれることを願っています。

技能五輪全国大会
「配管」職種への取り組み

環境設備科

福田 和寛

第55回技能五輪全国大会とちぎ大会は、平成29年11月24日に開会式を迎え、25日に「配管」職種の競技が行われました。この大会は、青年技能者の技能レベル日本一を競う全国競技大会であり、本校からは環境設備科3年の斎藤大樹君が出場しました。そして、環境設備科から高校生の技能五輪全国大会出場を目指した取り組みをはじめ、3年連続、4名の生徒が出場させることができました。

競技課題は、給排水配管設備の施工で、6時間30分ある競技時間内で仕上げます。生徒は当日公開される図面に基き、数種の管の加工を行い、衛生器具とともに壁へ取り付けました。途中、不備な部分を発見しましたが、様々な状態を想定し、練習してきたおかげで素早く修正する対応がとれました。独特な緊張感のなか、出場した生徒は、高校生と社会人との違いを実感し、企業の方と同じ課題に向き合うという貴重な経験ができました。



第44回全国高等学校総合文化祭 (宮城総文2017) に参加して

写真部

顧問 岡田英臣

平成29年8月1日(火)から3日(木)の日程で宮城県仙台市せんだいメディアアテークと、仙台市民会館において、「第41回全国高等学校総合文化祭(2017みやぎ総文)写真展」が開催されました。今回の写真展は、全国の都道府県から厳選された作品309作品が展示されました。栃木県からは、本校機械科3B池田濤司君の作品「デルタロール」ほか4作品を代表作品として出品しました。全国大会の作品は、各都道府県の代表とあつてどれも写真芸術的にも技術的にも非常にレベルが高く、どの作品も高校生のレベルをはるかに超えるものばかりでした。残念ながら本県の生徒の作品は上位入選はできませんでしたが、全国大会に出品出来たことは大変名誉なことでありました。

本校の池田濤司君の作品は、「ブルーインパルスがフェニックス・ロール」という横転する課目のワンシーンを

狙ったものです。タイトルのデルタとは、三角形の隊形から池田君が名付けました。



池田濤司君 作「デルタロール」

航空写真の場合、野鳥と同じように自由に空を飛んでいるので、撮影者がおおよそ飛ぶであろう場所を予想してカメラを構えなくてはなりません。さらに、高度も高いため、望遠レンズも必要となり、望遠になると画角(写す範囲)が狭くなるため、シャッターチャンスもほんの一瞬となります。

池田君はこのような厳しい条件をクリアし、今回の作品「デルタロール」を完成しました。これからもさらに写真芸術と技術を磨き、後輩へ伝えて欲しいと願っています。

全国高校定時制通信制総合体育大会陸上競技大会に出場して

定時制課程

顧問 増 淵 信子

今年度6月17日に行われた栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会陸上競技大会において、男子400mハード

ルで2年の佐々木龍昇君が優勝。男子1500mでは、3年の越沼礼君が準優勝。男子走幅跳では、1年の小野京介君が準優勝。

その結果、8月11日から駒沢陸上競技場で行われる全国高等学校定時制通信制総合体育大会陸上競技大会に出場することになりました。3人も全国大会に出場するのは初めてで、自分の記録をなんとか更新したいと頑張りました。3人も予選敗退という結果でした。しかし、佐々木君は、夏休みも頑張つて練習した成果が出て自己新記録を更新することができました。

全国の定時制の仲間と競技することができ、学んだことも多かったことと思います。この経験を今後の生活に生かして来年も全国大会に出場して、今年以上の記録が出せるように、顧問・選手ともに、より速く・より遠くを目標に更に努力していきたいと思っています。

応援して頂いた皆様、駒沢陸上競技場まで来てくださった教頭先生、本当にありがとうございました。



平成二十九年度の進路について

進路指導部長 丸山 玲子

本校のキャリア教育

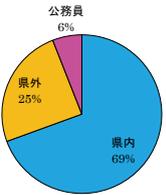
施設・設備の充実した中で、SPH(スーパープロフュシヨナルハイスクール)の研究指定をうけた本校は、グローバルリーダーの役割を担える人材の育成を目指したキャリア教育に取り組んでいます。やりたいこと(夢)やれること(役割)の三要素をしっかりと意識させた進路指導をしています。

就職

求人社数は、製造業などを中心に、今年度は、昨年度をさらに上回る695社、求人数は1113人という状況でした。求人倍率は5.08倍でした。

平成29年度の就職者数は、民間企業144社に、207名が就職内定をいただきました。県内就職者129名・県外就職者78名、公務員11名という結果です。(グラフ①)

就職者内訳



進学先

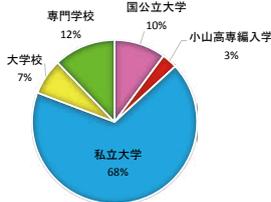


Table with 2 columns: 進学先, 人数. Rows include 国公立大学 (10), 小山高専編入学 (3), 私立大学 (67), 大学校 (8), 専門学校 (12), 合計 (100).



進学

進学者数は、国公立大学10名、私立大67名、大学校・専門学校等22名の合計100名でした。(表①)

進学者のほとんどが、推薦入試やAO入試による進学でしたが、センター試験での受験で、最後まで諦めずにチャレンジした生徒もいました。

国公立大学では、宇都宮大学(6名)、長岡技術科学大学(2名)、東京学芸大学(1名)、長岡造形大学(1名)でした。高校時代に身につけた専門の知識や部活動での活躍した実績も、推薦入試では、評価されたようです。

平成28年度収支決算報告

平成29年度予算

(1) 一般会計

収入金 5,794,534円
 支出金 5,045,965円
 残 金 748,569円
 自 平成28年4月1日
 至 平成29年3月31日

(1) 一般会計

収入金 5,348,569円
 支出金 5,348,569円
 残 金 0円
 自 平成29年4月1日
 至 平成30年3月31日

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
繰 越 金	1,132,435	1,132,435	0	
永久会員費	3,430,000	3,530,000	100,000	全10,000×319人=3,190,000 定10,000×34人=340,000
雑 収 入	0	1,132,099	1,132,099	一般会計利子、総会参加者会費、一時借入金
計	4,562,435	5,794,534	1,232,099	

■収入の部

(単位：円)

科 目	28年度予算額	29年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	1,132,435	748,569	△383,866	
永久会員費	3,430,000	3,470,000	40,000	全10,000×319人=3,190,000 定10,000×28人=280,000
雑 収 入	0	130,000	130,000	一般会計利子、総会参加者会費
基金からの借入金	0	1,000,000	1,000,000	一時借入金
計	4,562,435	5,348,569	786,134	

■支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
会 議 費	600,000	556,709	△43,291	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	148,001	△51,999	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	100,000	30,000	△70,000	母校歓迎迎会寸志等
事 業 費	1,200,000	1,391,517	191,517	卒業記念品、同窓会報、競別金、同窓 会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	100,000	35,000	△65,000	香典、生花
同窓会H P管理費	100,000	84,738	△15,262	H P更新料、サーバー費
予 備 費	462,435	0	△462,435	
借入金返済	1,500,000	2,500,000	1,000,000	基金(足利銀行)へ返済
計	4,562,435	5,045,965	483,530	

■支出の部

科 目	28年度予算額	29年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	600,000	600,000	0	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	200,000	0	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	100,000	100,000	0	母校歓迎迎会寸志等
事 業 費	1,200,000	1,300,000	100,000	卒業記念品、同窓会報、競別金、部活 補助、同窓会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	100,000	100,000	0	各種受賞祝い等
同窓会H P管理費	100,000	100,000	0	H P更新料、サーバー費
記念碑維持管理費	0	50,000	50,000	宇都宮青葉高等学校等へ依頼して いる維持管理用の備品代
創立100周年事業費	0	1,000,000	1,000,000	記念誌作成備品購入、出張旅費 積立等
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金(足利銀行)に返済
予 備 費	462,435	98,569	△363,866	
計	4,562,435	5,348,569	786,134	

(2) その他

① 基金

(単位：円)

基金合計	9 2 , 7 1 7 , 9 5 2		
金融機関名	栃木銀行 22,624,356	足利銀行 50,093,596	日光杉並木基金 20,000,000

(2) その他

① 基金

(単位：円)

基金合計	9 3 , 2 1 7 , 9 5 2		
金融機関名	栃木銀行 22,624,356	足利銀行 50,593,596	日光杉並木基金 20,000,000

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成29年4月12日 監査

同窓会定期総会報告

平成29年度定期総会は、平成29年6月3日(土)、ホテルニューイタヤで開催しました。

平成28年度事業報告、決算報告の後、平成29年度事業案、予算案の審議を行いました。技能五輪出場選手への工具や材料費等の支援について了承いただきました。また、会則の改定について審議いただきました。2023年に宇都宮工業高校が100周年を迎えるにあたり、岡田同窓会長を中心に準備委員会を立ち上げました。今後100周年に向けた事業案について話し合われます。

同窓会事務局の動向

葭葉教頭先生・建築デザイン系石下先生が那須清峰高に、環境建設システム系の加藤先生が今工高に、機械システム系の中川先生が栃工高に、異動されました。

4月には機械システム系に室田先生、石塚先生が、定時制数学科に石野先生が赴任されました。宇工出身の教職員は23名になりました。

同窓会長賞・奨励賞

同窓会長賞を第55回技能五輪全国大会建築大工職種に出場した建築デザイン科3年相馬光也君と服部友哉君、第39回栃木県高等学校総合文化祭写真展自由作品の部「推薦」を受賞した環境設備科3年古澤実来さんに、同窓会奨励賞をバスケットボール部、写真部、建築デザイン科鹿沼組子耐力壁研究班に授与しました。



平成28年度決算報告及び平成29年度予算を掲載しましたのでご覧下さい。

平成29年度役員

- 会長 治一 樹恵夫 男 一久 薫明光 好藏 一夫 男 誠雄 宏芳 男 文造 之長 雄一
- 副会長 義啓 茂智 秀泰 弘智 秀 一 健富 和成 光 綱政 忠林 俊良 勇裕
- 顧問 田井坂 田川 井井 梶田 林橋 橋成 田部 瀬藤 塚島 林 尻口 津田 平邊 田
- 監査 岡櫻 甫福 常今 藤字 亀小 大板 吉福 阿猪 伊飯 中小 野湯 梅大 小渡 蓮
- 参 与 根